

夏休み中のネット利用、 どんなところに 気をつけるべき？

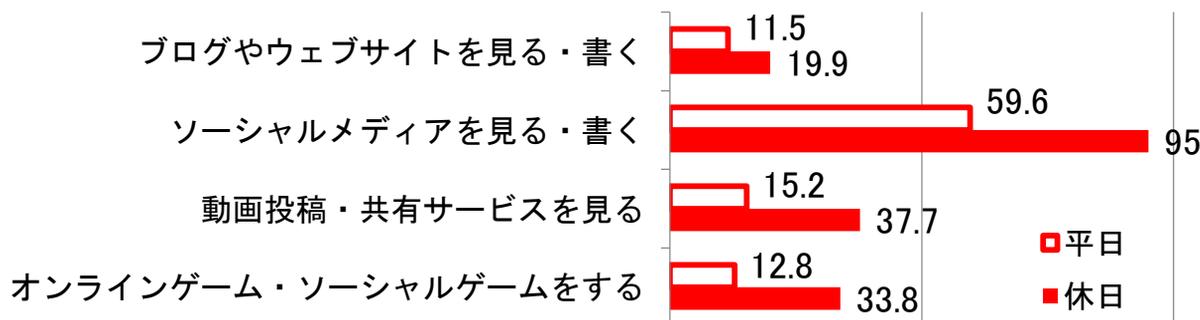


子供たちが楽しみにしている夏休みまであともう少し。大人にとっては水難事故、交通事故なども心配な季節ですが、インターネットの利用については何に気をつけるべきなのでしょうか？

インターネットの利用が長すぎる

子供たちのインターネット利用時間は、普段でも平日に比べて休日の方が1.5から2倍ほど長いのが特徴です。開放的な気持ちになる夏休みは、利用時間がさらに伸びがちです。

青少年のインターネット利用項目別平均利用時間(10代)(単位:分/日)



出所：H26年情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書（総務省情報通信政策研究所）

つながり型の長時間利用に注意

インターネットの長時間利用について、まず大人が考えつくのは、動画閲覧やゲームのような「娯楽型」です。ところが実際には、友人・グループ内において、無料通話アプリや交流サイトなどでのやりとりやコメントが気になる、自分だけ抜けられないといった悩みなどによる長時間利用（「つながり型」）が増えています。

指導の要点

長時間利用の自覚がない子供には、利用時間帯の記録をとらせることで気づきを与えることが効果的です。つながり型の解決には、校内共通の問題としての働きかけも必要です。学校だよりなどで、保護者とも問題意識を共有していきましょう。また、遠出をした様子、友人と遊んでいる様子などを写真や動画でインターネットへ投稿するといったトラブルが気になる時期でもあります。メール添付など送信者は非公開のつもりでも、いったん公開されたら、完全には取り消せないというインターネットの特性を、休み前にもう一度子供たちと確認しておきましょう。